

なかがわ

那珂川町郷土史研究会



裂田溝28 かめしまばし 亀島橋周辺

かめしまばし
亀島橋周辺

緒ある名前が将来に語り継がれることです。
「亀島橋」の下流には、約100m
おきに「上御所橋」「下御所橋」と名
付けられた同じ作りの木橋が架か
りました。これは神社前から安徳の
「針口」に通じる「町道山田・松木線」
沿いに「上御所」「下御所」の隣組名
があり、この名にちなんで付けられ
たものです。

裂田溝は、神社の裏から右へ大き
く迂回しながら「亀島」の間を通り、
安徳の「針口」へと流れています。
裂田神社鳥居の北側に架かつて
いた鉄板製の橋は、農作業に使われ
ていましたが、今回の工事で新しい
木の橋に変わり、溝に添つた新設の
遊歩道とを結ぶ橋へと変わり、「亀
島橋」と命名されました。橋の名前は、
古来より『神功皇后が神田を開鑿したた
め溝を掘り進めてきたところ大岩
に突き当たり水を通すことができ
ません。そこで家臣の武内宿禰を召
して神祈に祈ると、たちまち雷が落
ち大岩が二つに裂けて無事水を通
すことができました。その時に裂け
てできた片方の岩が田の中にある「亀
島』です。』と伝えられるように、由
れることができます。

田水路の整備を推進する会で山田
の溝沿いに植える花木を選ぶなかで、
郷土の大先覚者「高橋善蔵翁」の業
績を後世に語り継ぐためハゼを植
えることを話し合いましたが、水辺
にハゼを植えることは、水遊びの子
どもたちが「ハゼ負け」になる恐れ
があるため、場所がふさわしくない
と聞いた安徳の会長が、ご自分の持
ち山の一部を提供し移植されたも
のです。そこは遊歩道を散策する人
たちが一番目に付く絶好の場所で、
あと4、5年もすると両側の「モミジ」
や「ハゼ」が生長し、晚秋の里山を美
しく彩るようになることでしょう。
この場所で足を止めると、今年も農
作を約束するかのように滔々と流
れる古代用水路「裂田溝」と、北側の
「ハゼ並木」からは江戸時代の飢饉
から農民の窮乏を救つた「善蔵翁」
の足跡をしのぶことができる場所
になりました。

またこの辺りは歩行者の心をな
ともえ

コースメモ

- 72. 橋 - 23(亀島橋)
- 73. 橋 - 24(上御所橋)
- 74. 橋 - 25(下御所橋)

↓

次号へ 75. 橋 - 26
カワセミ橋周辺

史跡メモ

- 安徳台(迹驚岡)
- かめしまばし
亀島
- 裂田溝沿いの
モミジ・サクラ
- なみき
ハゼ並木



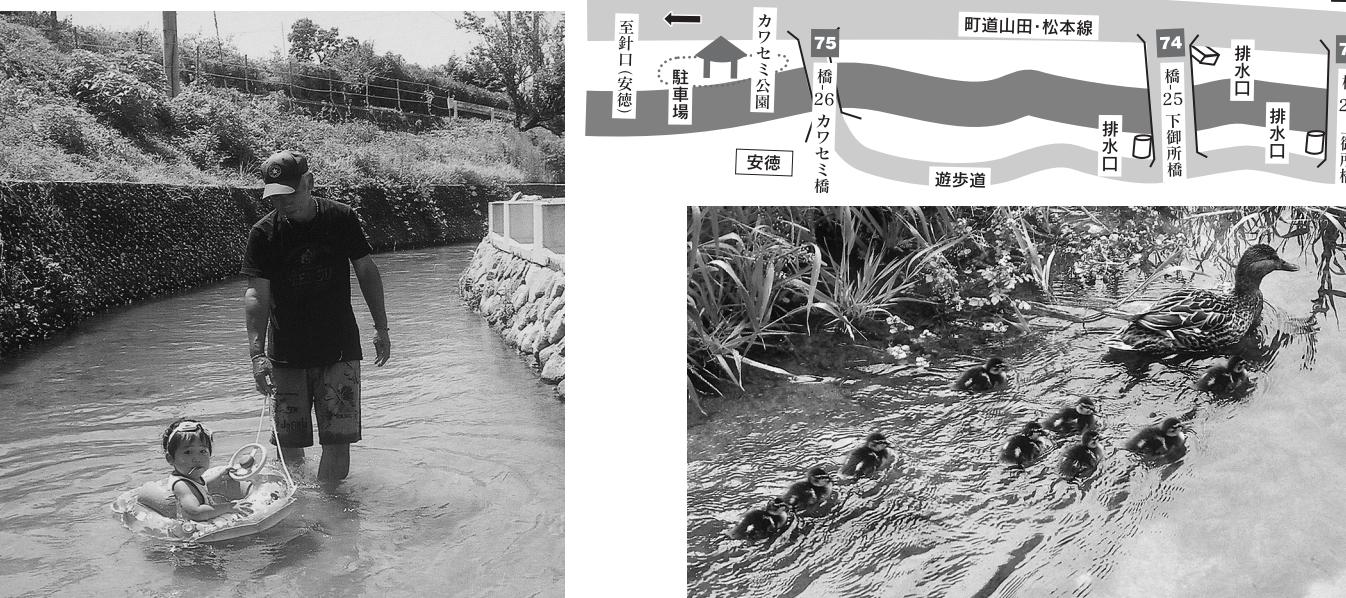
下御所橋 長さ6.38m 幅3.67m 高さ1.2m



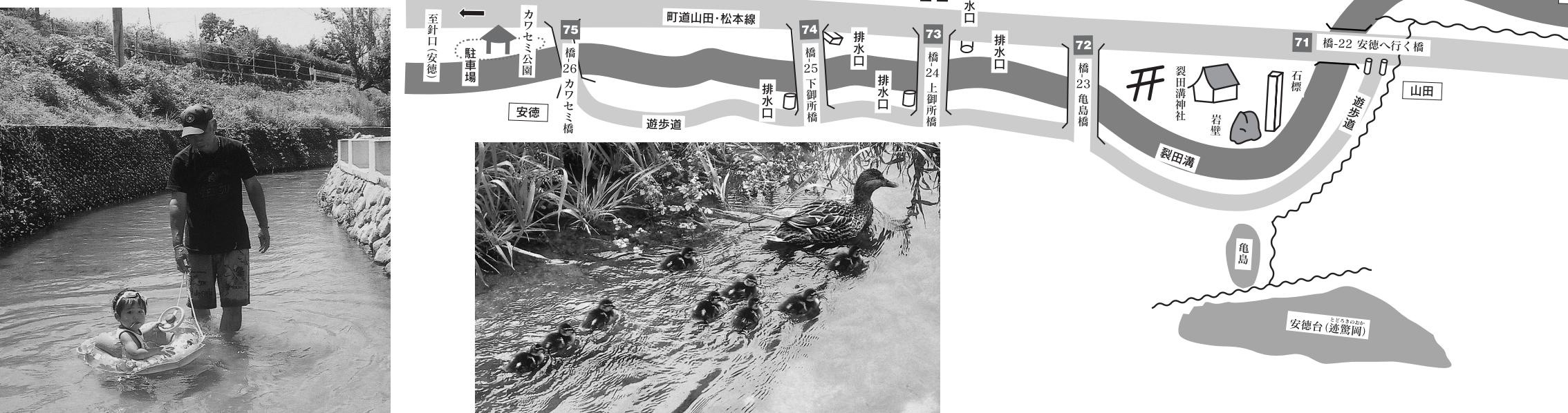
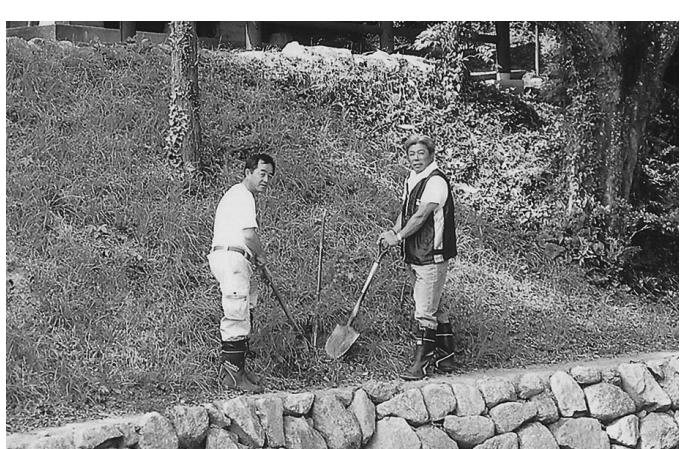
上御所橋 長さ7.33m 幅2.72m 高さ1.2m



夏の川は子どもにとって楽しい遊び場です



マガモ一家の可愛いしぐさが評判です

安徳台の山裾に、ハゼの木を植える
水路の会の役員さん

裂田水路沿いに、サクラやモミジを植える水路の会の役員さん